

修士論文一覧

2019年度修了者（101名）

哲学

カント理論哲学と「形式」主義の問題	道	下	拓	哉
Plato on Self-Knowledge in the First Alcibiades	広	瀬	哲	平
ハイデガーにおける真理と芸術	阿	達	佳	子

東洋哲学

朱熹の鬼神解釈	藤	本	りえみ
孔門弟子の形象	滝	口	雅依子
李贄における聖人観	及	川	伶央
「莊子」における隠者像の諸像	劉		博
湛然撰『金剛鉅論』の研究	龔		清杭
道範の成仏思想研究	佐	伯	公宣
『正法眼蔵』における『妙法蓮華経』	米	野	大雄
酷吏伝の研究	成	田	優子
郭象『莊子注』の研究	山	下	紀伊子
菅原道真における三世観	楊		嵐

心理学

呼称におけるカテゴリーの役割	田	中	諒子
商品選択における眼球運動に関する研究	渡	辺	藍丸

社会学

大学の権威と数的秩序	猪	俣	陽
文化としての〈コミュニケーション〉	嶋	田	祐大
文芸を介した連帯	安	川	和貴
組織からの逃走の困難性	松	井	怜雄

「自己肯定感を高める」の社会学的再考	田 中 悠理奈
現代日本のフェミニズムにおける包摂と排除	横 山 万 葉

教育学

日本における教師の専門職概念の再検討	白 井 舜
性教育実践における教師の学びに関する研究	佐 藤 惟 斗

日本語日本文学

安部公房論	前 田 駿 介
三島由紀夫『豊饒の海』論	山 口 祥 也
江戸川乱歩初期短編論	塩 井 祥 子
『萬葉集』遣新羅使人歌群の研究	榎 戸 涉 吾
谷崎潤一郎論	大 木 エリカ
遠藤周作「青い小さな葡萄」・『海と毒薬』論	宮 本 ひかり
太宰治研究	近 藤 太 郎
中島敦「古譚」の研究	森 彩 乃
近世後期戯作文学における諸芸能の利用	根 本 育 実
原民喜論	遠 田 憲 成
授受表現について	西 川 美 希
万葉景物論	西 田 大 輝
岡本かの子の短歌の文体論的研究	高 橋 愛 子
『拾遺抄』『拾遺和歌集』と菅原道真	御手洗 靖 大
十返舎一九の戯作研究	柳 昭太郎
石原吉郎論	宮 川 朔

英文学

オスカー・ワイルドにおける芸術論研究	石 川 亮 太
D. H. ロレンスとトルストイ	大 江 公 樹
『説得』におけるユーモア研究	笠 原 涼 太
Kurt Vonnegut 研究	井 上 菜々子

修士論文一覧

A Comparative Study Of Shakespeare Plays 金 井 友梨佳

フランス語フランス文学

マリヴォー『哲学者の書斎』における感化の問題 海 津 純 子

『教訓化オウィディウス』と『図説変身物語』の比較 土 橋 沙 耶

アンドレ・マッソンのオートマティスム 古 屋 詩 織

シャルル・バルバラ『感動的な物語集』論 宮 川 知 子

ドイツ語ドイツ文学

「再生」のメランコリー 戸 嶋 匠

コーネリア・フンケによる現代の児童像表現について 江 口 裕 子

遊びという概念 小 田 周 平

中国語中国文学

明末清初才子佳人小説における地理的なイメージの研究 シ ュ エ ン

第二言語習得におけるフィードバック研究 工 藤 稀 瑛

演劇映像学

ワークショップのドラマトウルギー 立 花 育 栄

クリストファー・ウィールドン振付『不思議の国のアリス』について 高 折 沙 羅

コルンゴルトの映画音楽 横 田 小 遥

ジャック・ベッケル研究 小 平 健太郎

美術史学

アンリ・マティスによるロックフェラー家のための注文作品 小 野 愛 莉

アクイレイア総大司教座聖堂の舗床モザイク研究 箸 本 奈生子

アド・ラインハートにおける東洋からの影響 山 崎 奈々子

カタルーニャ近現代美術とロマネスク 村 山 美 波

河鍋暁斎《鍾馗の戒め》に関する考察	堀越 蒔李子
クリスチャン・ボルタンスキーによる過去の「保存」	池田 淳史
犬追物図屏風について	柴崎 香那
歌川国芳の浮世絵に見る絞り文様の考察	木内 拓郎
観心寺如意輪観音像についての一考察	三橋 由吾
近代京都における刺繍絵画制作	林 春名

日本史学

日本古代の地域社会と神社	高橋 人夢
中世後期法隆寺による寺領経営の展開	竹内 惇人
1930年代の刑事警察	野間 龍一
戦前雑誌メディアと男性性の変遷	長野 幹
近世朝幕間交渉における内慮伺い制度の成立と変容	岩野 公太郎

東洋史学

北朝鮮における古代史観の構築	松浦 峻大
ファーティマ朝第3代カリフ＝マンスール著『イマーム位の確証』の研究	福光 叶恵
順治帝親政期の権力集中の手段について	オウ チョウ

西洋史学

16世紀帝国都市フランクフルトの救貧改革	長藤 美佑紀
第一次世界大戦前イギリスにおける国民兵役同盟・民兵・陸軍士官学校	竹内 茂雄
ナチス・ドイツにおけるユダヤ「混血児」・「混合婚」問題	佐藤 志保
1880年代におけるビスマルクのロシア外交と新聞報道	穴山 菜津美
ナポレオン時代におけるアンリエット・カンパンの女子教育思想	重松 美有紀

考古学

縄文時代晩期東北地方における土器製塩	岡本 樹
縄文前期土器の情報構造と選択性	鈴木 宏和

修士論文一覧

- 中期青銅器時代～後期青銅器時代の東地中海世界におけるキプロスの土器交易 …… 安 藤 謙
タイ・ドヴァーラヴァティー時代のセーマー石配置についての考古学的研究 …… 辻 角 桃子
3D スキャンを用いた槍先形尖頭器の機能形態学的研究 …………… 桐 原 弘 亘
縄文時代後晩期の土製仮面に関する研究 …………… 比留間 絢 香

文化人類学

- 観光のアクター …………… 川 嶋 あんり
神に祈るは「文化」にあらず …………… 矢 作 珠子

表象・メディア論

- 北園克衛の「プラスチック・ポエム」について …………… 若 松 千 尋
バーチャル YouTuber におけるイメージと身体 …………… 佐 藤 慎
ケンドリック・ラマー『トゥ・ピンプ・ア・バタフライ』論 …………… 牛 田 悦 正

現代文芸

- 内田百閒論 …………… 中 村 たかね
松浦理英子の著作と失敗し続ける関係 …………… 渡 邊 紗 世
小説における笑いの戦略——後藤明生、阿部和重、青木淳悟 …………… 荒 木 遼
書くことの起源、はじまりの欲望 …………… 佐 藤 歩
Tea and Sympathy：時代と性差をトランスする翻訳（trans-lation）の
2019年の新訳の試み …………… 吉 岡 佑
『吉野葛』論 …………… 大 山 純 平
村上春樹とサブカルチャーの問題 …………… 大 塚 将 貴

中東・イスラーム研究

- 「殉教者」の死の記憶 …………… 宮 本 佳 美
モロッコ独立運動の歴史から見るナショナリズムの国際性 …………… 渡 邊 文 佳
フランス帝国主義の協力者達 …………… 久 住 康 熙